

宇賀神みずき選手に 市アンバサダーを委嘱

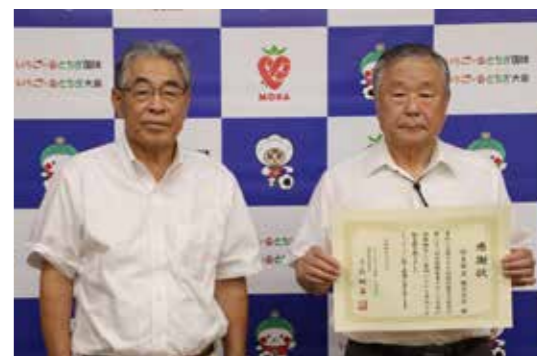
日本バレーボール一部リーグ（Vプレミアリーグ）の岡山シーガルズに所属する宇賀神みずき選手を真岡市アンバサダーに任命し、8月19日（金）、石坂市長がオンラインで委嘱状を交付しました。

宇賀神選手は、市出身で、真岡東小学校、真岡東中学校を卒業後、国学院栃木高等学校に進学し、平成27年に岡山シーガルズに入団。セッターとして活躍し、令和4年には日本代表の登録メンバーにも選出されています。

宇賀神選手は「スポーツは子どもから大人まで楽しめるもの、活躍を通してアンバサダーとして市のPRに取り組みたい」と意気込みを述べました。



オンラインで委嘱状を交付された
宇賀神みずき選手（右）



左からの石坂市長、小林克男代表取締役



294号線沿いに設置されたPR用横断幕

剋真建設(株) とちぎ国体へ協賛品寄贈

市役所でいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会真岡市実行委員会へ剋真建設株式会社から協賛品が寄贈され、8月8日（月）、感謝状贈呈式が行われました。

今回寄贈されたのは、10月に開催される「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」のPR用横断幕3枚。交通量の多い国道294号線沿いで、競技会場である総合運動公園に向かう道路沿いに設置されています。

小林克男代表取締役は「コロナ禍で大変な時期ではありますが、地元開催の国体に花を添えられれば」と話していました。石坂市長からは「競技会場に向かう全国からの選手・監督を応援できるものと確信しております」と感謝の言葉がありました。



真岡東中のパパさん応援隊 生徒にかき氷を振る舞う

9月1日（木）、真岡東中学校でコミュニティスクール（※）の活動組織の一つであるパパさん応援隊が、かき氷を作り、全校生徒に振る舞いました。このイベントは、毎年、全国的に夏休み明けに子どもの自殺が増える状況を踏まえ、生徒が楽しく学校に来られるよう願いをこめて、今年度初めて行われました。生徒たちは、かき氷を手に取り、用意された6種類のシロップから食べたい味を選び、応援隊の方にかけてもらい、クラスメイトと一緒においしそうに食べていました。

パパさん応援隊の飯島隊長は「活動を通して、子どもたちとより多く関わられる機会となつています。子どもたちに楽しんでもらえればうれしいです」と話していました。

※保護者や地域の方が学校と共に知恵を出し合い、一緒に協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支え、「地域と子ども」にある学校づくりを進める法律に基づいた仕組み

小学生いちごバス無料乗車 期間中に678人が乗車

7月21日（木）から8月31日（水）までの夏休み期間に、小学生を対象とした「わくわく無料乗車キャンペーン」が行われ、小学生678人（全乗車人数5,922人）が乗車しました。このキャンペーンは、子どもたちにバスの利用方法を学んでもらうとともに、公共交通への興味・関心を高め、愛着を持ってもらうために令和元年から行われています。



新コミュニティバスの名称 「もおかベリー号」に決定

令和5年春から運行予定の新コミュニティバスの愛称は、104件の応募作品の中から、市内小学生の投票により、永嶋春日さんが応募した「もおかベリー号」に決定しました。

もおかベリー号は、中心市街地と周辺地区を結ぶ10ルートを設定し、各ルートを週1日運行。車両は、ワンボックスタイプ（乗客定員8名）で、1日7〜8便の運行を予定しています。

順位	応募作品
1	もおかベリー号
2	コットンバス
3	もおかGO
4	モオカバス
5	もーぐるバス
6	もおくる
7	もめんバス

新コミュニティバス愛称の投票結果

もめん茶屋 リニューアルオープン

9月1日（木）、真岡木綿会館南側の「まちのお休み処もめん茶屋」が、リニューアルオープンしました。営業時間は平日・休日とも午前11時から午後5時までで「気軽に立ち寄れる憩いの場」をコンセプトに、オムライスやナポリタンなどの洋食メニューを提供しています。

新たにもめん茶屋の指定管理者となった、栃木県移動販売車協会の直井直人代表理事は「真岡といえどという商品をつくり、地域の活性化に貢献したい。そして、多くの人にこのお店を知ってもらいたい」と話していました。

今後は、スイーツや総菜のテイクアウトも計画しているそうです。皆さまも、お気軽にお立ち寄りください。



栃木県移動販売車協会の
直井直人代表理事



粟村隊員

このコーナーでは、真岡市で活躍する方を地域おこし協力隊が取材し、紹介します。今回も、粟村隊員が「真岡まちづくりプロジェクト」のメンバーを取材しました！

地元・栃木で地域に役立つ仕事をしたいと考え、大学に進学した石川さん。佐野市の職員であるお父さんの存在、県内の自治体が企画する地域おこしの活動に参加したことをきっかけに、まちづくりに興味をもち、まちづくりに参加しました。日頃から、公共施設が活用されていないことに課題感があり、二宮コミュニティセンターの活用を考えるチームで活動し、令和3年11月に芝生広場でイベントを開催。約1,500人が来場しました。活動を通じて、石川さんは「自分がやりたいと思ったことを声に出すことが大切。自発的に言葉にできる人、行動できる人を増やしていきたい」と今後の意気込みを話していました。



市HP

それいけ！ まちびと



石川 すずさん

宇都宮大学地域デザイン科学部
コミュニティデザイン学科4年